

夏・秋・冬(5月～2月)に活動

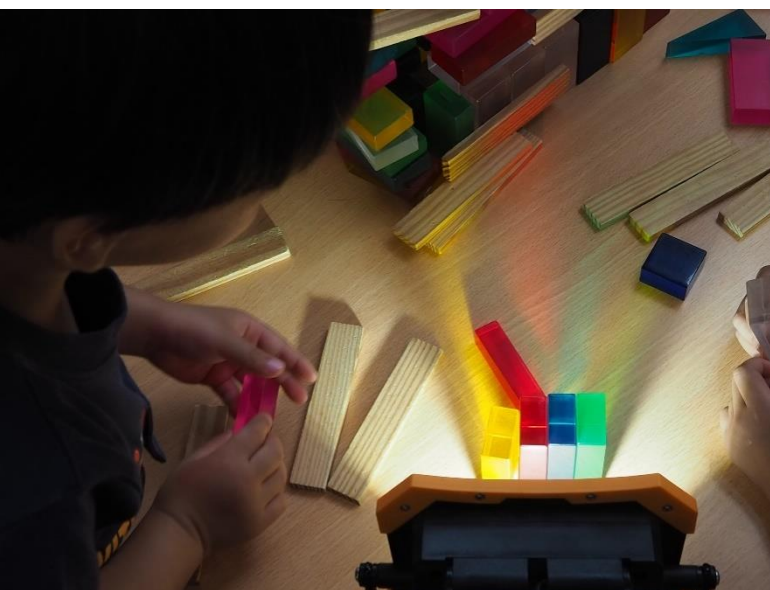
ひかってピカってかたちになった！

～きりん組、光をテーマに遊びが深まった事例～

透明ブロックを懐中電灯で照らしてみると、「色の光になる！」ということが発見したきりん組の数人の子どもたち。そこから、「光って面白い！」「こんな風にしたらどうかな？」「これもやってみたい！」と色々な思いが湧き出てきて、最後にはお楽しみ会へと繋がっていきました。きりん組さんが夢中になった光を見ていきたいと思います。

透明ブロックってキラキラして綺麗だよ！

5月、透明ブロックで遊んでいた子どもたちが「透明ブロックってキラキラしててきれいだよね！」と話している場面に出会いました。色と色を重ねて上からじっと見ているような姿をみて、懐中電灯をそっと置いておくと、「光に色がついてる！」「みて！青になってるよ！」と大興奮。「色と色を重ねてみてもまた色変わるね！」「こっちの色もやってみよう！」と光で遊び込んでいる様子でした。



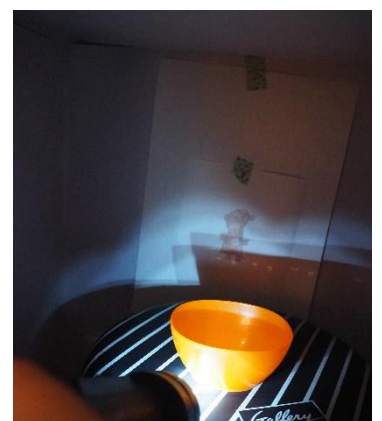
夏・秋・冬(5月～2月)に活動

光の部屋がやってきた！

光に興味を示す子どもたちからある時、「真っ暗な部屋でやったらもっと綺麗な？」という発言ができました。カーテンを閉めても昼間のクラスでは真っ暗にはならず…どうしたらいいかなと思っているときに、クラスを真っ暗にするのではなく、真っ暗な場所をクラスにつくることならできるのでは！？と保育者のなかで話がまとまり、大きな段ボールに、白い模造紙を貼り、窓もつくり、光の部屋を作りました。

子どもたちに光の部屋をみせると、「なにこれー！」「なにになに！！」「光の部屋？！」「面白そう！」「これで真っ暗になれるってこと！？」「やりたい！」と大盛り上がりでした。

実際に半透明のおままごとの食器を使って、光を当ててみるといつもよりも、濃く色がでました。そこで、「光の後ろに絵とか描いてみたら面白いんじゃない？」と提案してみると「いいね！お風呂にする！」「電車にする！」と色々な絵と光を合わせて、食器の位置なども変えながら遊んでいました。



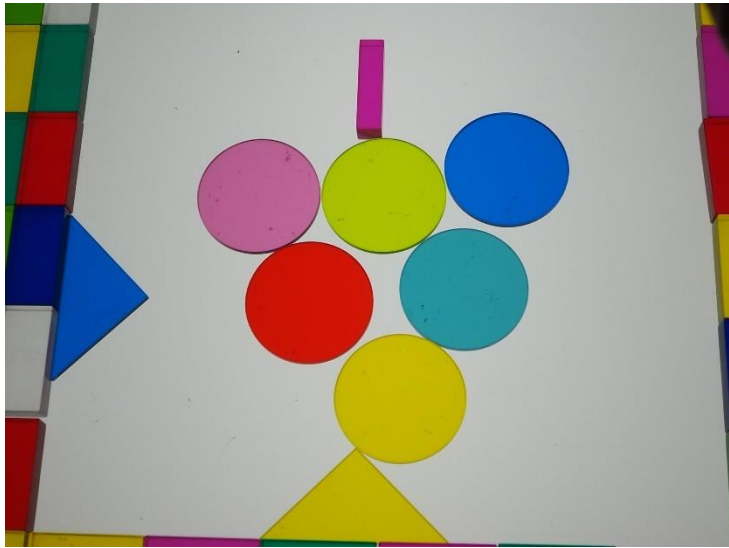
夏・秋・冬(5月～2月)に活動



光のテーブルがやってきた！

光の部屋で何度か遊んでいたころ、光のテーブルがやってきました。子どもたちは「光が下からでてる！」「こんなすごいテーブルあるの！」と透明ブロックを置いてみたくてみたくて仕方がない様子でした。万華鏡を持ってきてみてみると、「どこでみるかで色が変わる！」「何色もあるとすごいよ！」「ほんとだ！」と万華鏡を使った新たな発見もありました。「色と色重ねてみたら色変わってるね！」「綺麗だね！」「光って綺麗だよね！」と光への興味が尽きないようで、夢中で遊んでいました。





お楽しみ会で光をやりたい！

数か月に渡り、光で遊び込んでいるうちに、お楽しみ会の季節がやってきました。保育者が「お楽しみ会な
にやりたい？」と聞いてみると、様々な意見のなかに光ができました。そして、いくつかのチームにわかれ
たなかに、光チームが発足し、話を進めていくことになりました。

お楽しみ会でどのようなことをやりたいのか、話し合ってみると、以前に読んでいた影の絵本の話になりま
した。その絵本の中にでてくるものをいくつか試してみたうちの一つに影絵がありました。画用紙を動物の形
に切って、光を当ててみると…影がきれいな動物の形に！「すごいすごい！」「これでお話とかやりたい！」
「楽しそう！！」と盛り上がり、お楽しみ会に向けて走り出しました。

さらに、光のテーブルに大きなお城を作り上げ、それもみてもらうことになりました。また、光に色がつくこ
とも子どもたちの中では大きな発見だったので、光に色がつく演出もいれたり、こどもたちと一から作り
あげていきました。



ぞうは立ったまま水を飲
みます！見てください！
水場にぞうがやってきま
した！立ったまま水を飲
んでいます！





夏・秋・冬(5月～2月)に活動

ふいかえってみると！

身近にあるおもちゃを使って遊んでいる中で、「光があたって綺麗に見えた！」という子どもの小さな発見から子どもたちが興味を持ち、色の混じり、光のひかり方、反射など次々と気がつき関心を深めていくことができました。保育者もその興味関心を広めていくための環境設定として懐中電灯(大・小様々なもの)や光のテーブル、万華鏡などを用意していきました。環境設定の仕方によって、子どもの興味は幾重にも広がっていくと考え、日々保育を行っていますが、今回はお楽しみ会で影絵を披露することに繋がっていきました。光という、日常的にあるものの、その存在に焦点が当たることが少ないものに、子どもたちの興味関心のアンテナが立ち、好奇心を持って意欲的に取り組んでいる姿をたくさんみることができました。

この経験から子どもたちは、光は色のあるものを使って映し出すことが出来る、光を通さないものが黒く影になる、色を重ねると色に変化がある、影にも色をつけることが出来るなどの光の科学的心を学ぶことができたように感じています。

今後も日常の中の子どもたちの小さな発見を大切に、一緒に興味を持って関わっていく保育をしていきたいと思います。